

会員の皆様、こんにちは。

9月に入りました。まだまだ残暑が厳しいですが、一雨ごとに秋の気配がする今日この頃です。

今回のテーマは、『読書の秋を国立国会図書館で！』がテーマです。食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋、そして読書の秋です。そんな読書にもってこいの季節には、国立国会図書館でのイベントが企画されています。普段目にすることができない貴重な歴史書物なども展示されます。是非ご一読いただき、ご来場ください！

石田まさひろ政策研究会

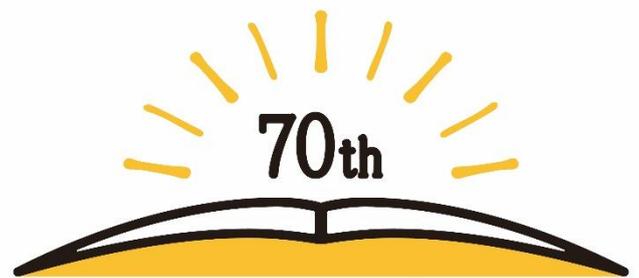
読書の秋を国立国会図書館で！

■ 国立国会図書館は全国に3か所

今年3月のメルマガで、国立国会図書館の機能や役割についてご紹介した。学校の図書館や市立図書館とは一味違う国立国会図書館ならではのオリジナリティを知っていただけたのではないだろうか。また、国会に隣接する本館・新館だけでなく、京都府の関西館、上野公園の国際子ども図書館もまた国立国会図書館であることも知って頂けたことと思う。

■ 国立国会図書館が主催するイベント

さて今回は、国立国会図書館が主催するイベントについてご紹介しよう。以前国立国会図書館について掲載した際、冒頭に「国会議員の職務の遂行に資することが最も大切な任務」だと書いたこともあり、国立国会図書館が主催するイベントと聞いてもなかなかピンとこないだろう。しかし、実は、国立国会図書館の任務の一つには、広く国



過去を読み、未来を読む。

民向けに本に関する知見を広め興味を喚起することができるのだ。

■ イベントの内容は？

今年、国立国会図書館は、開館70周年を迎え、開館70周年記念展示「本の玉手箱—国立国会図書館70年の歴史と蔵書—」を開催予定である。1948年の開館以降の歩みと、約4,300万点に及ぶ蔵書の多様さを、美しい本、珍しい本、どこかで見た本、世を映す本といった特色ある資料約180点の展示で紹介している。

■ 歴史的な書物も多数。見所満載！

流麗な字で記された『源氏物語』、正岡子規の自筆資料やコレクターが集めたスクラップブック、二代歌川豊国の「名勝八景」シリーズなどの錦絵、子どもの頃に親しんだロビンソン・クルーソーの物語やアンデルセンの童話、『解体新書』や『みだれ髪』といった、教科書あるいはテレビなどで見たことがあるような本、戦後すぐの時代のカラー写真「モージャー氏撮影写真資料」、往年の人気テレビドラマ「太陽にほえろ」の脚本などなど、見所満載の展示会である。

■ イベントの日程

東京本館では、10月18日(木)～11月2日(金)と11月5日(月)～11月24日(土)、関西館では、11月30日(金)

国立国会図書館
National Diet Library, Japan

開館70周年記念展示

本の玉手箱

国立国会図書館
70年の歴史と歳時

入場無料

平成30年
東京本館 国立国会図書館 東京本館
新館1階展示室
10月18日(木)～11月24日(土)
10:00～19:00(最終18:00まで)
休館日 10月16日(火)～11月2日(金)
(休館) 11月5日(月)～11月24日(土)

関西館 国立国会図書館 関西館
地下1階展示室
11月30日(金)～12月22日(土)
10:00～18:00
(休館) 11月30日(金)～12月2日(土)
(休館) 12月10日(日)～12月22日(土)

開館70周年記念展示講演会
10月27日(土) 4:00～18:30
「一冊の中には小宇宙」
～江戸時代のスクラップブック展～
講師 村上 亮
11月10日(日) 14:00～15:30
「本でまなぶこと 街がおしえてくれること」
講師 村上 亮
11月10日(日) 14:00～15:30
11月10日(日) 14:00～15:30
11月10日(日) 14:00～15:30

http://www.ndl.go.jp/exhibit70/

～12月8日(土)と12月10日(月)～12月22日(土)に開催予定である。記念展示講演会も同時開催予定であり、詳細は(<http://www.ndl.go.jp/exhibit70/>)から参照されたい。事前申込、入館手続は一切不要で、これまで国立国会図書館を利用したことのない方も含めて、是非気軽に足を運んでいただきたい。

また、8月16日(木)から9月18日(火)まで、関西館では、『百花繚乱 ガーデニングの世界』と題し、ガーデニングに関する本や雑誌 100 点を紹介している。その図譜の精緻さと彩色の見事さは現代の図鑑に引けを取らない。京都観光で人の多さに疲れたら、市内の喧噪から少し離れた関西館を是非訪れて頂きたい。

■ 子ども図書館でもイベントを開催！

上野公園の中に佇む国際子ども図書館では、9月9日(日)から2019年1月20日(日)まで、展示会『『赤い鳥』創刊100年一誌面を彩った作品と作家たち』を開催する。児童向け雑誌『赤い鳥』が1918(大正7)年に創刊されて、今年で100年を迎えたことを記念しての展示会である。この機会に童心に戻り、国際子ども図書館を訪れてみたいものだ。明治39年に帝国図書館として建てられたレンガ棟は、歴史的建造物としても見ごたえ十分である。

読書の秋を是非国立国会図書館で！

著者：K.H.

Seki-shiN 石心 石田まさひろ政策研究会メールマガジン vol.039

このメールは送信専用メールアドレスから配信されています。ご意見は info@masahiro-ishida.jp までお寄せください。

【配信停止・設定変更】本メールサービスの解除を希望する方は、石田まさひろ政策研究会までご連絡ください。

【配信元】石田まさひろ政策研究会 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-1

Copyright© Masahiro ISHIDA all Rights Reserved ---掲載記事の無断転載を禁じます---